

JAしまねびより

2020

4

April
Vol.49

特集 島根の農産物のセールスマン

私たちが
販売戦略室です!



島根の
いいもの再発見!!

乳牛

[益田市]

詳細は6ページへ



JALしまね くまびき地区本部版

topics 1

エコバッグ貸します！
「循環エコバッグ」で環境保護

JAしまねいわみ中央女性部弥栄が、浜田市弥栄町のAコープやさかで「循環エコバッグ」活動を始めました。エコバッグを忘れた来店者は、店舗にある女性部員が持ち寄ったエコバッグを使い、次の来店時に返却する仕組みです。

「うっかり忘れた」という人のため、「家にあるエコバッグが共有できるようになればいいな」と女性部員で考えたことが実現しました。

徳田マスエ部長は「地域の人みんなで共有することで環境保護につなげていきたい」と意気込みを語ります。



循環エコバックを持つ弥栄女性部員

topics 2

新型コロナに負けるな！
「県産品応援デー」始めました

JAグループ島根は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費の減少が懸念される生産者の皆さんを応援するため、島根県と連携して「県産品応援デー」に取組んでいます。応援デーとして定めた毎週金曜日は、両組織の役員1万1,100人が県産品を積極的に購入します。本誌をご覧の皆さまにもぜひご賛同いただき、ともに県産品を応援しましょう！

【例えばこんなこと】

- ・牛乳をもう1本多く使って、家族で牛乳料理をもうもり食べます。
- ・金曜日には花を買ってゆとりのある週末を過ごします。
- ・県産牛肉、野菜、魚を買って家族で鍋を囲みます。



応援デーのチラシを持つJA職員

topics 3

JA島根厚生連
健康管理センターが開所しました

出雲市斐川町美南で建設していた、JA島根厚生連の健康管理センターが完成しました。

この健康管理センターは、人口減少・少子高齢化といった環境変化を見据え、従来から展開している「巡回型」の健診に加え「施設型」の健診を実施することで、JA組合員をはじめとする地域の皆さまのさらなる健康増進を目的としています。

「各種がん検診」を含む「総合健診」や要望の多い「新規検査」のほか、健康教室や研修会など、JAグループ島根厚生事業の情報発信拠点として多様な活動を行います。



島根の農産物のセールスマン

私たちが

販売戦略室

です！



斐川町にあるJAしまね営農経済本店を拠点に活動する

「販売戦略室」をご存知ですか？

今回の特集は、JAが自己改革に掲げる

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の達成に重要な役割を担う「販売戦略室」にスポットをあててご紹介します。



販売戦略室はいつからあるの？

平成30年3月に新設しました。当初は3人体制でスタートしましたが、現在は室長を含め4人体制で業務にあたっています。

統合前は県内の各JAが個別に取引先と農産物販売の交渉を行っていましたが、ひとつの地域で供給できる物量には限りがあるため、取引先からの需要にこたえられないことがありました。そこで、地区本部・地域の垣根を無くして、「JAしまね」として交渉にあたるための窓口となるべく「販売戦略室」ができました。

どんなことをしているの？

県内で生産される農産物の、ビジネスチャンスや販売チャネル拡大の役割を担っています。

例えば契約栽培を始めとした直接取引では、業者からは「高品質」なモノを「均一」なレベルで「大量」に納品できるかを問われます。地域単位では応えることが難しいこうした要求も、島根県内の複数の産地で統一的な規格のモノの生産・出荷が可能となればクリアできます。販売戦略室は、「オールJAしまね」として島根産農産物を売り込むため、生産現場での営農指導と販売を結びつける役割を果たしています。農産物販売のコーディネーターとイメージしてもらえれば分かりやすいかもしれません。

具体的には、営業活動の中で取引先の需要をキャッチすると、要望に応えるモノ、つまり「売

れるモノ」を生産・販売するためのワーキングチーム（以下、WT）を設置します。WTには地区本部や本店の関連部署、またJA関連会社の生産・流通・販売の担当者を参集し、期限を区切って集中的に対応を検討・実践します。販売戦略室はこのWTの企画、立案、進捗管理を行っています。もちろん単発で販売して終了ではありません。販売後は消費者からの評価を生産現場へフィードバックし、以降の取引量増加に向けて課題の改善を図ります。取引先を開拓することは重要な業務ですが、私たちは販路を作るだけでなく、「売れるモノを継続して生産できる仕組み」まで作って初めて成功だと考えています。

今後の目標は？

2019年度に開拓した取引先を中心に販売額の増加を図り、2021年度末には2018年度を基準に3億5千万円の販売額増を目指します。

2019年度は30を超える新規取引先への販売を開始しましたが、これからは個々の取引先との取引量を増やすため、「売れるモノ」の地域をまたがった産地拡大を進めます。例えばカボチャです。兵庫県にある野菜の大手総合商社への販路を開拓し、2019年度は試験栽培として4地区本部管内2.2haで栽培しました。収量はやや少なかったものの、品質は全国トップレベルの評価だったことを受け、増産の要望をいただきました。2020年度は各地区で栽培面積の拡大を図るとともに、新たな地区での栽培も始め、5.4haの栽培を予定しています。将来的には県内全体



井戸敬洋職員



とに取組みました！

大手外食産業へ精米を供給

島根県内の大手回転ずしチェーン店やレストランチェーン店への精米供給を開始しました。

外食産業のほか中食産業も需要が伸びる見込みの産業であり、多収穫米の販売先として期待しています。

2020年度は11月からの鳥取エリアへの供給に向けて、現在商談を進めています。



古瀬仁美職員



島根の農産物を
売り込みます！

販売戦略室 室長
須山 一



J Aしまねは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの柱を戦略に盛り込み自己改革の実現に向けて取り組んでいます。販売戦略室は、地区本部単位の販売に広がりを持たせるため、県内産品のビジネスチャンスや販売チャネルの拡大の役割を担う目的で設けられました。

J Aしまねの野菜販売チャネルは、全体的には卸売市場への一元的な販売から、直接販売等を含めたより多角的な販売へと変化しつつあります。儲かる農業の実現に向けて、担い手経営体のニーズに応える個別対応を強化し、マーケットインに基づく生産・販売方式への転換を図り、付加価値の増大と新たな市場開拓へ挑戦していきます。

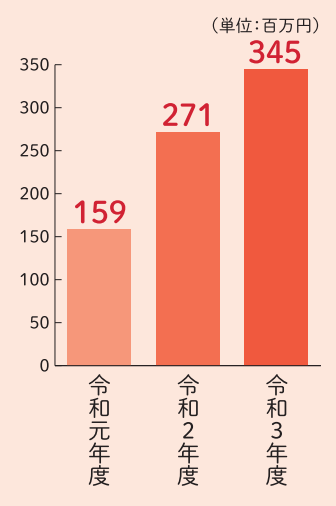
最後に、J Aとは、相互扶助の精神のもと農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された事業体です。販売戦略室の使命として、農家と消費者をつなぐ「食の架け橋」となり、未来の豊かな生き方、地域づくりに貢献し、農業者が営農活動から得る「よろこんでもらえるよろこび」を感じてもらえる、そんな島根の地域を目指します。

で20haを目指しています。このカボチャは「売れるモノ」にするため、出荷時期を他産地と他産地の隙間となる7月の短期間で統一しています。これは、島根県内の一般的な慣行栽培と比べて1ヵ月程度早いいため、生産者の皆さんにはこれまでにない手間や作業をお願いしていますが、県農業技術センターの協力を受けながら営農指導と一体となった「モノづくり」を進めます。

また新規取引先の開拓としては、北海道市場に注目しています。道内の取引先からは島根の特産品の一つである柿やワサビなど、北海道では生産されていない農産物への問い合わせがありますので、販路拡大の可能性が大いにあります。

今後取引先ニーズはもちろん、食の安全や国産志向など常に変化する消費者のニーズを見据え

3カ年計画に基づく販売計画



た生産を提案していきます。そして「企画↓生産↓評価↓改善↓生産↓…」のサイクルを回し、販売を起点とした「モノづくり」を実践します。



永瀬英昭職員



2019年度はこんなこ

島根産小豆の販売

大手コンビニチェーン向け

新しい地域特産品として、高収益作物である小豆の生産に着手し、大手穀物問屋との契約産地化に向けた商談を進めました。

今後は取引の継続と島根産小豆のブランド確立に向けて、栽培体系の早期確立とブランド振興策を、行政機関と連携して進めていきます。



年々人気が高まり、全国的にも増産傾向にあるシャインマスカット。島根産シャインマスカットは、他産地に先駆けて市場外流通のひとつとしてコンビニ業界に進出しました。

「しまねっこ」ラベルを貼付して島根ぶどうの品質の良さをPRしたところ、関東・関西など大消費地を中心に50,000パックを納品する大ヒット商品となりました。



島根には誇れる
農産品がた一つくさん!
**島根のいいもの
再発見!!**

[直撃・生産者インタビュー]

益田市

乳牛

4月、西いわみ地区本部。益田市で乳牛の飼育に取り組む株式会社メイプル牧場・取締役渡邊智章さんにお話を伺ってききました。



お話を伺いました
渡邊智章さん。

異業種と手を組み合い、皆がプラスに

益田市に拠点を置く株式会社メイプル牧場は、地元で肉牛の肥育を行なっている株式会社松永牧場のグループ会社として平成17年に設立されました。メイプルとは、カナダでよく見られる楓のことで、赤ちゃんの手のひらという意味もあります。「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届けることをモットーに異業種の5名が集まって立ち上げた事業であり、その協調のシンボルとしてもこの名前が付けられました。中でも、動物診療所がグループ企業として連携していることは全国的にも非常に珍しく、病気の治療はもちろん牧場全体のコンサルタントを担い、エサの設計や経営にも携わっています。その他にも木材のチップを作る会社とも連携し、木の破砕くずを牛の敷物にするなど、様々な業種の企業が支え合いグループ全体がプラスになるような関係を築いています。

西日本屈指の大牧場へ発展

メイプル牧場設立当時は、全国的に牛乳が余り生産調整が行われていた時代。そんな中でも、将来を見据えて大規模な牧場を新設しました。その後、制限は解除され、どんどん生乳の出荷を増量していき、現在は年間

1万2千トンの出荷量を誇る西日本でも屈指の大牧場に発展しました。

牧場には、乳牛、F1（交雑種）、黒毛牛の3種類合わせて約2千頭の牛がいます。このうち、乳牛のメスは残し、種付けをして出産させ、ミルクを搾ります。ここでは酪農はもちろん、松永牧場に肉牛のF1、黒毛牛の子牛を供給することも目的としていて、繁殖・飼養にも力を入れています。子牛は西部家畜市場へ出荷され、その多くが松永牧場へと渡ります。グループ会社だからと言って直接取引するのではなく、一度市場を経由することによって、市場の活性化にもつながっています。

毎日徹底されている乳質管理

メイプル牧場では、乳牛に対し採食量の管理をきっちり行い、健康な牛を育てています。牧場が設立された当初、世界初の乳質管理改善システムを導入。朝、夕の搾乳時に一頭ずつの脂肪、体細胞、血液量を瞬時に計測、確認できます。これらのデータからほぼ同レベルの数値の牛たちを20の部屋に分け、専属の獣医のもとカロリーや糖質などを細かく計算されたエサを与えています。それぞれの状態に合ったエサや添加剤をコントロールしていくことで、毎日厳しい乳質管理を行っています。実は、一年中同じ乳質を保つことは難しく、特に夏になる



「朝早くから従業員みんなが頑張っています」と語る渡邊さん。



新型のロボット式パーラー。ほぼ自動で搾乳が完了する。



ヒートストレスを軽減するために屋根が高く設計されている。天井に溜まったガスを大型の扇風機で同じ方向に流していく。



今後も「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届ける。



機器によって、自動的に搾乳される。



搾乳時に、画面で一頭一頭の状態を確認できる。

と脂肪分が低下していきます。また、牛が暑さに弱いことから、乳房炎という病気にかかりやすくなるため、それらの対策としてもエサの中身の割合が重要になってきます。今の時代は「治療するのではなく、予防することが大事」と言われています。病気になつてから治すのではなく、病気にならないようにどう注意するか。そのためにグループ企業が連携し、全力で牛の体調管理に気を配っています。

新型のロボット式パーラーの導入

2019年に新しく稼働を始めたグループ会社の「浜田メイプル牧場」では、国内で2番目となる新型のロボット式パーラーを2機使用し、約800頭の乳牛の搾乳を行っています。大きな円形の土台に牛が乗ると、自動的に搾乳機器が付けられ搾乳が始まります。下の土台がメリーゴーランドのように一周する間(約15分間)に決まった量を搾乳できていると、機器が外れ、出口から牛が出て行くという画期的なシステム。ほぼ人の手を借りず搾乳できるようになったため、女性一人でもオペレーションすることができるよう。このように、最新機器の導入で時間と労働力の削減が可能となりました。

年中無休で稼働する牧場

現在従業員はパートやベトナムからの実習生を含め38名。2交代制でシフトを組み、早朝から夜遅くまで搾乳をはじめ、牛の世話や牛舎清掃などの作業をこなしています。盆や正月などにまとまった休みを取ることは難しいですが、それでも従業員みんなが真摯に仕事に取り組んでいます。「子牛に対しては自分の子どもを見るように十分注意しながら面倒をみてほしい」と語る渡邊さん。それくらい、牛の病気や変化に細心の注意を払うように指導しています。その分、元気な子牛が産まれた時には今までの努力が報われるほど嬉しいそう。「みんなが本当に頑張ってくれています。どこでも通用するくらいの技術を身につけているのでとても頼もしいです」と笑顔を見せる渡邊さん。牛の命や安全に関わることは徹底的

に厳しく教育しつつも、従業員と築かれた深い信頼関係が伺えます。

地域の方々と共に成長していく

畜産という業態はにおいやカラス、汚水などの問題からすべての地域住民から理解を得られているとは言い難い現実があります。そこで、メイプル牧場では地域の人たちに受け入れてもらうためにも、様々な行事や祭りに積極的に参加し、アイスクリームの販売や牛乳の無料試飲などを行いながら少しずつ地域との距離を縮め、畜産業への理解を深めてもらえるよう取り組んでいます。また、地元の小学校の子どもたちを迎え、子牛にミルクをあげる体験や、写生大会などを実施。子どもたちにとっても牛とのふれあいを通して貴重な体験に役立っています。今後も、メイプル牧場は地域も企業も笑顔になれるようお互いに支え合いながら、最大の目的である美味しい牛乳を皆さんに届けるべく、日々前向きに努力し続けています。

一口メモ

年間1万2千トンの生乳を出荷するメイプル牧場の主な出荷先は、地元の加工会社や県外の大手飲料メーカーなど。地元でいちばん売れ行きが良く評判なのが「メイプル牧場牛乳」という商品。益田市に本社がある地元スーパーの「キヌヤ」が商品化し、販売しています。メイプル牧場で搾られた生乳を100%使用し、甘くて美味しい牛乳を家庭に届けています。また、グループ会社でもある「楓ジェラート」のアイスクリームはメイプル牧場産のミルクを使用。島根の素材をたっぷり使用し、こだわりの味を提供しています。





JAしまね女性部

平成29年に県内の女性部が一つとなり、JAしまね女性部が誕生しました。JAを拠り所として「食」と「農」を基軸に、くらしをまもる活動等を展開し、これまで以上に魅力ある活動の輪を広げています。

昨年度より「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」をJAしまね女性部3カ年計画に掲げ、県内の部員が一丸となって地域で輝くための活動を実践しています。

その中でも、近年頻発する災害に対する備えを学習テーマとした「JAしまね女性部研修会」では、日用品で作る防災グッズ講習や、非常時に行う炊き出しを実践し、誰もが安心して暮らせる地域づくり活動につながりました。

また、介護予防運動や料理教室など、誰もが気軽に楽しく参加できる活動を通じて、仲間との交流をはかっています。



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまね石見銀山青年連盟

小野 健さん
おの たけし

JAしまね石見銀山青年連盟（以下、農青連）に加入している小野健さん（35）は大田市鳥井町で約60aの面積でぶどう栽培を行っています。

祖父の代から続くぶどう農家出身の小野さんは就農して11年目になります。

「子供の頃からぶどう栽培を手伝う中で、漠然と将来はぶどう農家になると思っていた」という小野さん。

ぶどう栽培の魅力を聞くと「作物が育つ過程を見ることが一番の楽しみ。品質の良いぶどうができれば達成感が湧く」と熱い思いを語ってくれます。

小野さんは農青連に加入して2年目で、現在は役員も務めています。

「他の生産者との関わりができて、いい刺激をもらっている」というお話のとおり、農青連で食農体験活動やポン菓子加工など地域振興のため様々な活動に参加しています。

今後の農青連での抱負を聞くと「盟友のみんなが仲良く、無理なく、集まって楽しく活動することが大切」と話してくれました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

エダマメ

肥料は控えめに

大豆を未熟のうちに収穫するのがエダマメ。タンパク質、ビタミンA、Cを多く含み、ビールのおつまみとして夏の栄養補給に最適です。



園芸研究家 ● 成松次郎

元から切り取り、2本立ちにします。

気温が低い時期や鳥害を避けるためには育苗する方法もあります。この場合、直径7.5～9cmのポットに3～4粒まき、初生葉がそろそろ頃に間引いて2本残し、本葉2枚頃まで育苗します(図3)。

病害虫の防除

高温期にはカメムシ類が発生し、さやに付くと落下します。開花期にスミチオン乳剤、トレボン乳剤などの登録農薬で防除します。

収穫

さやが膨らんで、指で押さえるとはじけるようになれば収穫期で、開花後から30～35日です。株ごと引き抜いて収穫します。収穫適期は3～5日と短いため、同じ品種なら時期をずらして2～3回に分けて種まきすると、長く収穫を楽しめます。

品 種

一般には早生品種を使い、「おつな姫」(サカタのタネ)、「サッポロミドリ」(雪印種苗)などがあります。風味の良い茶豆では「湯あがり娘」(カネコ種苗)など、黒豆も人気で「濃姫」(タキイ種苗)などがあります。

畑の準備

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、よく耕しておきます。1週間前に化成肥料(NPK各成分で10%)100gと堆肥1～2kgを施し、よく混ぜ込んでおきます。その後、畝幅70～80cm、高さ5cm程度の栽培床(ベッド)を作り、黒色のマルチを張ります(図1)。

図1 ベッド作り

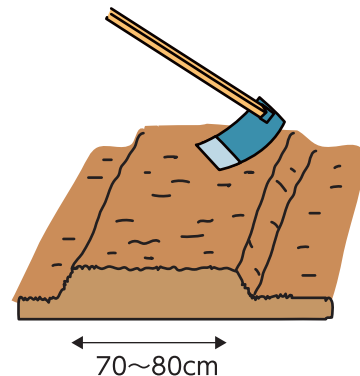


図2 種まき

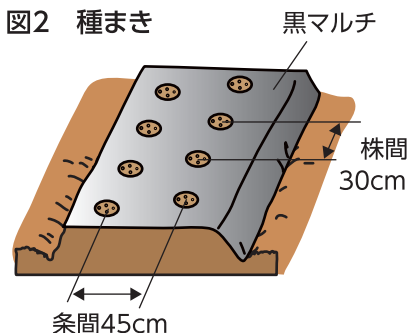
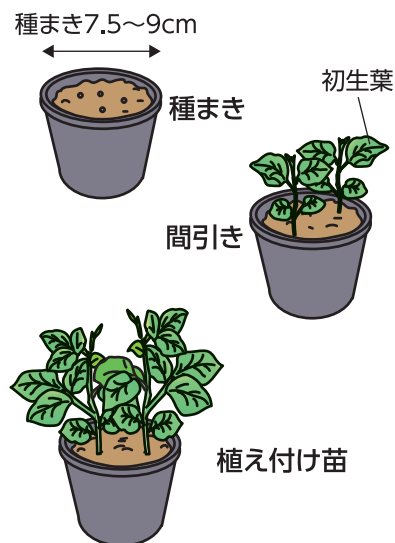


図3 ポット育苗



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



地域貢献・地域活性化事業支援金を交付

J Aしまねでは「令和元年度地域貢献・地域活性化支援事業」を実施し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を普及支援しています。

くにびき地区本部は3月24日に交付式を行い、下記の4団体を表彰しました。

団体名(構成者数)	代表者(敬称略)	主な活動内容
やくも夏まつり実行委員会(10名)	石原 泰仁 (八雲町)	祭りへの参加、八雲町独自の「やくも音頭」を作成することで地域コミュニティの充実、地域への愛着を深めた。多様な世代が支えあう地域を作り、災害に強く安心・安全な八雲を目指している。
佐太教育振興会(40名)	平塚 義久 (鹿島町)	毎年夏休みに佐太小学校の校庭と校舎の連絡階段に児童と保護者で絵を描き、秋の運動会には地域住民や保護者、児童がその階段で応援をした。県道からの景観を守るとともに、明るく元気な地域作り貢献した。
潜戸太鼓(18名)	松蔭 貴幸 (島根町)	大人や学生、園児で活動しており、異世代交流の場として地域の活性化に尽力した。年間約20回、福祉施設や地域内で演奏、発表を行った。地域の歴史や文化を継承することで郷土愛や地域の文化力を高めている。
高野宮相撲大会実行委員会(21名)	小村 隆 (大垣町)	毎年、大垣町内にある高野宮神社で江戸時代から続く、例大祭に併せて相撲大会を開催している。小学生、中学生を中心に取り組み、地域の活性化を目指し、活気ある活動をしている。



交付団体の代表者と地区本部役員

交通安全用反射材贈呈

湖東中学校など管内中学校へ

J A 共済の交通安全活動で、通学時など夜間の交通事故防止に役立ててもらおうと、新学期を前に管内各中学校の新1年生に、自転車用夜光反射テープ1,839個と夜光反射タスキ1,221本を贈りました。



栗原本部長(左)から目録と趣意書を受け取る安部委員長(中央)

3月17日には、栗原令本部長が松江市立湖東中学校を訪れ「事故のない安全な地域づくりに役立ててほしい」と生活委員長の安部亘汰さん(新3年生)と同副委員長の加本湖心さん(新3年生)に反射テープ135個の趣意書と目録を手渡しました。安部亘汰生活委員長は「登下校時などに反射材を活用して、事故を起こさないよう心掛けた」と話しました。



石富亭校長は「地域の安全に欠かせないカーブミラーや反射材などを毎年寄贈していただき助かっていました」と謝辞を述べました。

おいしいシイタケを作るう!

植菌作業に挑戦

宍道町椎茸生産者組合(狩野和由組合長)は3月4日、宍道町上来待にある椎茸乾燥場で来待小学校の3年生20名に、シイタケについての出前授業を行いました。



この出前授業は同組合員で地区本部運営委員でもある永江久夫さんが、子どもたちに農業の魅力や食べる喜びを知ってもらおうと食育の一環として5年前から開始。当初は個人で行っていましたが、今では組合の活動として取り組んでいます。

当日は、同組合員やJ Aの営農指導員などが講師として参加し、シイタケの特色や栽培手順、植菌・収穫方法を解説しました。その後、植菌作業を体験。児童はかなづちを使い、前もって穴を開けておいた原木に、駒菌を慎重に打ち込み、ほだ場へ運びました。



組合員の指導のもと、原木に穴をあける児童

授業を受けた烏田美桜さん(9)は「駒菌を打ち込む作業が楽しかった。自分で作ったシイタケを食べるのが楽しみです」と笑顔で話しました。永江さんは「食育を通じて来待産のシイタケを広げていきたい」と話しました。ほだ場へ運んだ原木は、同組合員や児童が管理し、2年後に収穫する予定です。

コンクールで最優秀賞！ ポスターで盟友拡大目指す

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は3月17日、松江市内の観光名所や野津委員長所有のイチゴハウスで撮影を行いました。

同青年連盟は、J A全農と大手ジーンズメーカーが共同開発した作業着を身に着け、農業のかっこよさをPRする「J A全青協オリジナルワークウェアポスターコンクール」において最優秀賞に輝き、『地上』への掲載が決まりました。

当日は、野津委員長をはじめ、4名の盟友がオリジナルワークウェアを着用し、撮影に挑みました。宍道湖や松江城周辺などの市内観光地を背景に撮影を開始すると、最初は緊張した面持ちだった盟友もポーズを決めるなど撮影を楽しみました。その後、ハウスに移動し、農作業の風景などを撮影しながらかっこいい農業をPR。また、活動やポスターについてインタビューを受けました。

野津委員長は「緊張したが、楽しく撮影することができた。青年連盟の活動を通じてもっと横のつながりを作っていきたい」と話しました。

ポスターは支店やJ Aグリーン店舗などに掲示し、地産地消の促進や盟友拡大に役立ちます。



ハウスでの農作業風景を撮影



撮影の様子



宍道湖を背景にポーズを決める盟友



農と食の総合誌『地上』6月号掲載へ

女性農業者の働く姿描く！ 神門侑花さん『地上』掲載へ

玉湯町でイチゴを栽培している神門侑花さんが3月23、24日の両日、『地上』の連載企画で女性農業者に焦点を当てた「恋愛age」への掲載に向け、取材を受けました。

神門さんは2019年5月に就農し、同年9月にハウス2棟を母校である玉湯中学校の横に設置。イチゴ「紅ほっぺ」を栽培し、1日に150〜200パックを出荷するなど日々農業の最前線で奮闘しており、『地上』への掲載が決まりました。

当日は、栽培のこだわりや苦労について話したほか、収穫やパック詰めなどの作業風景を撮影しました。

神門さんは「イチゴは女性に向いている作物だと感じている。3年目には3棟目のハウスを設置できるようがんばりたい」と意気込みました。

出荷は市内の市場やAコープたまゆなどを中心に6月ごろまで続く予定です。



丁寧にパック詰めをする神門さん



ハウス内での撮影の様子



イチゴはハウスで高設栽培



甘くてジューシーなイチゴ



ハウスで葉かき作業をする神門さん

組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

地産地消で地域を活性化！ 「さんちよく営農塾」開講

15名が学ぶ

くにびき地区本部は3月11日、中海干拓研修センターで「さんちよく営農塾」の開講式を行いました。

同塾は今回で5期目となり、農業に関心があり、将来、良品質の農産物を生産し「JA産直コーナー」への出荷を目指す人を対象に募集。基礎知識と圃場実習、模擬出荷体験などの内容で、1年間かけ研修します。

当日は、塾生15名が出席。冒頭、塾長の中村隆菅農経部長が「松江市は、地産地消が根付いており、産直の需要は高い。卒業後には、自信を持って農業に取り組み、産直のリーダーとして引っ張ってほしい」と挨拶。続いて、塾生は自己紹介をし、目標を発表しました。

その後、第1回目の講義として「さんちよく野菜等の取り組みについて学んだ後」と題し、連作障害の回避方法や今後の栽培品目について学んだ後、圃場に移動し、



圃場実習を受ける塾生



第5期さんちよく営農塾開講式



連作障害について解説する講師

圃場に移動し、ネギの収穫などの作業を行いました。塾生は「野菜作りの基礎から学び、将来自信を持って産直に出荷していきたい」と目標を語りました。

くにびき農業法人会定期総会を開催 総会後には有害鳥獣対策研修も

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は2月28日、松江しんじ湖温泉夕景湖畔すいてんかくで「第9回定期総会」を開催しました。

当日は、くにびき管内で組織する18法人の代表者など35名が出席。冒頭、岸本会長が「農業の衰退は地域の衰退につながる。地域と農業を守り抜くために各法人が使命感を持って、活動してほしい」と挨拶しました。

その後、マルカミ農縁株式会社の上山根晴久代表取締役を議長に選任し、令和元年度の活動、収支決算について報告。さらに同2年度の事業計画と収支予算案を承認しました。また、役員の変更もあり、岸本会長のほか副会長1名、委員1名、監事2名が再任。石倉清己さん（農事組合法人みどりの郷）が新たに委員に選任されました。



新役員による挨拶

また、総会後には農研機構西日本農業研究センターの堂山宗一郎博士が「イノシシを知って考える被害対策」と題し、動画や写真でイノシシの特徴や被害防止策を紹介。堂山博士は「習性を知ること、被害を防ぐことができる。できる範囲のことから取り組んでほしい」と参加者へ呼びかけました。

- 【会長】岸本 定朝（再任）
- 【副会長】多久和輝男（再任）
- 【委員】吉岡 雅裕（再任）
- 【委員】石倉 清己（新任）
- 【監事】田中 裕司（再任）
- 【監事】青砥 忠一（再任）

くにびき農業法人会新役員（敬称略）



イノシシの特徴について話す堂山博士



被害防止策について学ぶ参加者

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り

2020年産水稻種まき開始！ 10万箱を予定

くにびき地区本部は3月24日、中海干拓育苗センターで2020年産米の種まきを開始しました。5月下旬まで、「ハナエチゼン」「コシヒカリ」「つや姫」「きぬむすめ」など合計10万箱の育苗を行う予定です。

当日は、2,800箱の種まきを実施。機械で育苗箱に床土を入れ、注水、播種、覆土を行い、温度30度に保った育苗器に運搬しました。その後、3日ほど育苗器の中で経過させ、芽が1センチ程度まで伸びた苗をハウスに移し、植

え付け目安となる十数センチまで成長させます。育った苗は、4月下旬頃から順次生産者に引渡す予定です。指導販売課の岩田政彦課長は「計画的に作業を進め、良質米を生産していただけるよう、丁寧に種まきや育苗を行っていく」と話しました。本年も当地区本部では、「きぬむすめ」「つや姫」の生産拡大に取り組み、生産者の所得増大に努めていきます。



工程を見守る作業員



育苗箱に種がまかれる様子



種まきの準備をする作業員

ミニトマトワリの栽培開始！ 24,800本の出荷目指す

くにびき花卉生産組合（若林大徳組合長）は3月10日から、組合メンバー4名で中海干拓地にあるハウスを活用し、ミニヒマワリ「サンリッチUP」と「レモンエクレア」の栽培を開始しました。

「サンリッチUP」と「レモンエクレア」は、花径8〜10cm程度、草丈が60〜70cm程度。色鮮やかでかわいらしい見た目と茎の硬さが特徴でアレンジしやすく人気がある品種です。

7月まで1週間おきに育苗箱に種を播き、発芽後2本仕立てでポットに移植し、開花したら切花として出荷。再度同じ作業を行い、ポットを再利用し、1ポットより4本の切花を収穫します。2度目の出荷を終えたポットには草花の種を播き、鉢物として出荷を計画しており、廃棄物やコストの削減にも取り組んでいます。

若林組合長は「安定収入を目指し、市場相対出荷を協議し、各市場に計画的に出荷を予定している」と話しました。5月ごろから山陽、関西方面の市場を中心に24,800本出荷する予定です。



ずらっと並ぶミニトマトワリの苗



生育状態を確認する生産者と営農指導員

営農指導体制がリニューアル

指導販売課



園芸特産係
安部 恭久

携帯 080-5239-2525
特産、米穀



園芸特産係係長
大山 浩二

携帯 080-5239-2534
特産、米穀



課長補佐
石橋 保範

携帯 080-6262-6495
特産、米穀



課長補佐
門脇 功一

携帯 080-5239-2529
特産、米穀



課長
岩田 政彦

TEL 55-3031
総括



園芸特産係
稲田 慎平

携帯 080-5239-2520
特産、米穀



園芸特産係
伊藤 彩

携帯 080-5239-2523
特産、米穀



園芸特産係
門脇 栞

携帯 080-5239-2531
特産、米穀



園芸特産係
川島 優

携帯 090-9732-6105
特産、米穀



園芸特産係
菊地 雅也

携帯 080-5239-2528
特産、米穀

担い手サポートセンター



新規就農支援係
岩水 孝則

携帯 080-1927-9801
《全域》新規就農、集落営農



担い手対策係
片寄 俊一

携帯 090-8992-1354
《橋北》TAC
(経営相談、農業融資相談等)



担い手対策係係長
渡部 直樹

携帯 090-4894-3961
《橋南》TAC
(経営相談、農業融資相談等)



園芸特産係
上田 隆夫

携帯 080-5239-2521
特産、米穀



園芸特産係
小笹 那々子

携帯 080-6302-7999
特産、米穀

暮らしに役立つ家庭雑誌

家の光

「食と農」「家族」「暮らし」「協同」の4つのテーマを追求して92年。家族みんなの夢を応援します！

好評販売中!!

年6回 別冊付録付き

さまざまな分野の旬のテーマをわかりやすく掘り下げます。

農業・地域・JAを担うリーダーの雑誌



定価(税込)
●普通月号618円
●付録付号(4・11月号)680円



JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌



定価(税込)
●普通月号492円
●付録付号(1・4・8月号)576円
(公社)日本PTA全国協議会推薦



◎年間予約購読(前納)

※原則として、年間予約購読(前納)の中途解約はできません。

誌名	年間定価合計	無償分	前納誌代
家の光	9,411円	629円	8,782円
地上	7,540円	618円	6,922円
ちやぐりん	6,156円	492円	5,664円

年間予約受付中



定価(税込)
●普通月号 629円
●家計簿付き12月号 1,027円
●付録付号(1・4・5・7・9月号) 922円

誌代1年分を前納すると普通月号1か月分が無償となります。

お申し込み、お問い合わせはお近くの支店へ

※年間予約購読をご希望の場合は、5月15日(金)までにお申し込みください。

島根県農林漁業団体退職者連盟松江支部が 役員会内でテント寄贈式を開催



奥原副本部長(左)へ目録を手渡す支部長(右)



島根県農林漁業団体退職者連盟松江支部（齋藤司支部長）は3月26日、くにびき地区本部で役員会を開催しました。

同連盟は全国及び県連盟の解散に伴い、3月31日をもって解散が決定し、これまで事務局を務めた当地区本部に対し、残余金をテントとして寄贈いただきました。

当日、齋藤支部長から目録を受け取った奥原副本部長は「地区本部として有意義に使用させていただきます」と謝辞を述べました。

寄贈いただいたテントは今後、イベント等で有効に活用していく予定です。

JALしまねくにびき地区本部の 結婚相談・お見合い

会員登録無料
年会費等不要

結婚を考える
あなたのために、
専任相談員がご相談に
応じます。

お相手をご紹介、
お見合いの
仲介をします。

ぜひ、お気軽にご相談ください！

無料相談・登録会 開催

対象者：松江市在住の方で真剣にご結婚を考えている独身男女（家族、友人相談可）

開催時間：10:00～12:00（1人20分程度）※要電話予約※

開催日および場所

日付	場所	日付	場所	日付	場所
5月20日(水)	川津支店	6月10日(水)	古江支店	7月8日(水)	法吉支店
8月5日(水)	津田支店	9月9日(水)	乃木支店	10月7日(水)	鹿島支店
11月11日(水)	島根支店	11月11日(水)	14:00～16:00 八束支店		
12月9日(水)	美保関支店	1月13日(水)	東出雲支店	2月10日(水)	八雲支店
3月10日(水)	宍道支店	3月10日(水)	14:00～16:00 玉湯支店		

♥相談員携帯 090-3637-0071 まで、ご連絡・ご予約ください。

※日程が変更になる場合がございますので、必ず事前にご連絡ください。※ご希望の方との結婚やお見合いをお約束するものではありません。



パートナーセンターくにびき JALしまねくにびき結婚相談所

〒690-0122 松江市西浜佐陀町246番地1

携帯：090-3637-0071 TEL/FAX：36-5005

営業時間：毎週月曜～金曜 AM8:30～PM5:00 ※土日祝祭日、12/27～1/5を除く

E-mail：partner.kun@ja-shimane.gr.jp



詳細はこちら

5月連休期間中(5/2~5/6)の営農に関する問い合わせ先等について

1. 水稻育苗注文等に関すること

受付時間 8:30~17:00

- 松江北・鹿島地区管内
北育苗センター 問い合わせ先 TEL 88-3342
- 松江東・松江南・島根・八束・美保関・八雲・東出雲・宍道・玉湯地区管内
中海干拓育苗センター 問い合わせ先 TEL 52-3214

2. 営農指導等その他の業務に関すること

受付時間 9:00~15:00

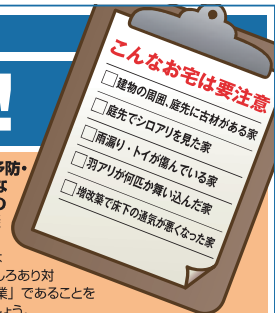
- 営農企画課・指導販売課・産直資材課 問い合わせ先 TEL 55-3030

3. その他

- 生産資材の購入につきましては、JAグリーン・グリーンショップ・中海干拓事業所をご利用ください。(※中海干拓事業所は、現金でのお支払いができません。)
- 連休中の生産資材の定期配送は行っておりませんので、よろしくお願いいたします。

生活燃料センターより

シロアリ警報!5月は羽アリが多発!!



無料



初夏は羽アリが出る季節。早めの防除があなたの家を守ります。

シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。

シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。

JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る防災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。

環境に適合した薬を使用
(公社)日本しろあり対策協会が効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。

資格者(プロ)による施工
(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にとっとりしろあり防除施工士が施工しています。

取扱業者

株式会社 **コタマサイエンス**

(公社)日本しろあり対策協会正会員
会員番号 島根県 002
会員番号 鳥取県 002

(本社)〒690-0048 島根県松江市西塚島 2丁目 8-23

JA全農基本契約業者「株元玉商会」特約施工店

■松江営業所 TEL0852-26-6757

■各営業所/江津・益田・隠岐・鳥取・倉吉・米子・広島
<http://www.kodama-s.co.jp/>

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コタマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。



志田原 高

村上 紀文

山根 直也

石川 由之

古川 秀信

お問い合わせ先 **くにびき地区本部 生活燃料センター TEL:36-9270**

5月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
8	金	税務相談会	川津支店 (TEL: 23-2424) 10:00~12:00
11	月	税務相談会	古江支店 (TEL: 36-8157) 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店

○くにびき統括支店ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※5月の土曜営業日は9日、23日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

5月 ふれあい訪問日

5月13日(水)・14日(木)

◎課長（農機センター長）
 ○店長、センター長、所長
 ■課長補佐、支店長補佐 □係長 #臨時 △派遣

地区本部長 栗原 令
 地区副本部長 奥原 展芳

営農経済部

部長 中村 隆勝
 次長(営農) 松尾 荒木
 次長(生活) 潤一

生活総合課 553040

◎営農経済部
 次長(生活兼務)

生活燃料センター 369270 ☎0120・419・496
 ○井上 裕文―生活燃料係
 ■石倉 英人、吉野 純也、松崎 一好
 #石倉 和浩、#角 紀子、#佐藤 裕雄
 #白石真理子、#神庭 昭一

資産相談センター 323111
 ○営農経済部―資産相談係
 □沖本 達哉、柳浦 純子、福島 一樹

中海干拓事業所 526610
 ○小室 陽二―園芸特産係
 □吉田 達志、#福頼 雅子、#青木 保憲
 #森廣 恵子、#石倉 哲也、#井原 裕雄
 #小松 弘美

八東特産事業所 762526 ☎0120・053・435 (牡丹)
 ○佐川 真二―園芸特産係
 □平塚 敬樹、#曾田 稲子、#門脇 有悟

園芸特産係 553033
 米穀畜産係 553038
 ◎岩田 政彦
 園芸特産係 ■門脇 功一、■石橋 保範、□犬山 浩二、安部 恭久、菊地 雅也、川島 奨
 #山崎 真紀、稲田 慎平、伊藤 彩、小笹那々子、#上田 隆夫、#井山 理恵
 米穀畜産係 ■須山 哲成、□安達 朋秀、錦織 貴裕、梅 晶博、多々納朋佳、福田 海晴
 #吉岡 悟、#長廻さおり、#経種 則子、#高井 憲人

指導販売課 553033

JAグリーンつだ 367133
 ○梶谷 朋之―店舗係
 #吉岡 幸子、#古川 健策、#榎 靖孝
 #宮久 恵、#長谷川裕子、#内田比呂志、#安達 真弓
 #藤田 倫子、#遠藤 教乃、#今村 径子、#平野 陽子

JAグリーンかわつ 212373
 ○清水 雅樹―店舗係
 #佐野 妙子、#安部 里美、#田中 健次、#三島 由貴
 #小柴 和子、#宮本 久恵、#勝田 明美

くにびきサンサン市場駅前店 207288
 店舗係 #西山 良、#堀 静子、#川合 洋子

グリーンショップふるえ 367133
 店舗係 #平井 朋子、#池田優美子、#橋本 亮子
 #金田 文子、#内藤 広美

グリーンショップやくも 541136
 店舗係 #外谷三枝子、#小池 恵子、#戸谷 明生

グリーンショップたまゆ 621314
 店舗係 #新宮 陽子、#奥田 好恵、#三島 陽子

グリーンショップしんじ 660173
 店舗係 #渡部 洋、#福岡 久恵

産直資材課 553034

◎杉谷 高明

産直資材係 ■上田 武、栗原 浩幸、#佐々木 治
 産直係 □鳥木 丈治、須山 慶一、野津 貴信、#山本 美紀、#若竹 宏美、#波多 伸行

営農企画課 553030

◎石倉 精治

営農企画係 ■山根 敏行、岩田 敏、#池田智恵美
 担い手サポートセンター
 担い手対策係 □渡部 直樹、片寄 俊一
 新規就農支援係 岩水 孝則

(営農企画課付)
 (松江市農政課出向)
 岩成 周平

津田支店

②41818

支店長 野津 隆
支店次長 永井 宏和

- 業務係
 - #野津 貴子、#杉村 忠司、△原 元子、飯塚 貴之
- 共済普及係
 - 吉岡麻依子、長谷川あゆみ、#黒目 早貴、松本 郁奈、井上 直紀
 - 藤原 真優、石原 隆弘、横野 亘、松林 龍己
- 信用渉外係
 - 荒川 智子

法吉支店

②3690

支店長 春木 透
支店次長 和田 妙子

- 業務係
 - 伊藤 修英、吉野 沙希、#木瀬勢津子、#野島 浩子
- 共済普及係
 - 梅 圭佑、小村 典子、#安達 美香、隠岐 史也
- 信用渉外係
 - 清水 夏帆、青木 倫子、三代 健太

古江支店

③68157

支店長 池田 久夫
支店次長 種平 貴行

- 業務係
 - #上田 澄恵、#黒崎美佐子、#多和桂子、#郷原 弥生、#村松 真美、#野津 洋子
- 共済普及係
 - 田中 洋子、奥原 裕之、石原 敬之、田邊 真輝
- 信用渉外係
 - 赤山 有希、樋口麻友佳、福井 健志、高橋 りこ

川津支店

②32424

支店長 古藤 昌希
支店次長 勝部 秀一
支店次長 奥村 良紀

- 業務係
 - #柴山 千春、#古藤 純子、#小林真理子、#門脇 名実、#上野恵美子
- 共済普及係
 - 岩田 直也、野津 武司、森岡 梓、土江かおり
- 信用渉外係
 - 奥村明日香、今岡 照和、□矢野 裕之、杉谷 彩、野村 真美

八雲支店

⑤41122

支店長 井原 将人
支店次長 門脇 誠

- 業務係
 - △水瀬奈津子
- 共済普及係
 - 金山 由衣、角田 睦也、堀江 寿美、坪倉友香美
 - 吉野 絵里、吉川 純平

東出雲支店

⑤22022

支店長 坂本充知男
支店次長 門脇千穂子

- 業務係
 - #石倉 民子
- 共済普及係
 - 野津 敬志、荒川 直寛、石橋 梨紗、松本 綾佳
- 信用渉外係
 - 渡辺 美子、根本 歩美、山口 諒、來海 歩

美保関支店

⑦2511

支店長 野田 学
支店次長 曾田 恭子

- 業務係
 - 川谷 浩美、三代 若菜、#雲津 茂樹、#仙田 和葉
- 共済普及係
 - 米村 優人、小豆澤 恒

八束支店

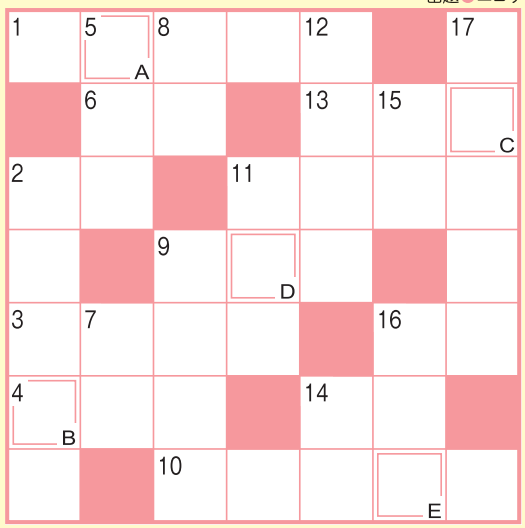
⑦62525

支店長 井上 和之
支店次長 菅井 健一

- 業務係
 - #安部 紀子
- 共済普及係
 - 角 瑛、陰山 捺美、中尾 安衣、#古藤 由美

CrossWord
クロスワード
パズル
Puzzle

二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ②知事選の期日前——に行ってきた
- ⑤耳は聴覚、鼻は嗅覚、目は
- ⑦ゾウやライオンを数えるときに
使う言葉
- ⑧大きな口を持つ爬虫(はちゅう)
類
- ⑨往年のヒット曲『——のハワイ
航路』
- ⑪武者人形はかぶっていることが
多い
- ⑫茶畑で行う収穫作業
- ⑭数え年70歳のお祝いです
- ⑮アンカやオットセイより大きな
海獣
- ⑯飛行機で物を運ぶこと
- ⑰田畑を耕す農耕機械

ヨコのカギ

- ①端午の節句に食べる和菓子
- ②損の反対語
- ③あの人、いい人なんだけど、
——多いんだよなあ
- ④邦画ではありません
- ⑥シオマネキやガザミはこの仲間
- ⑨馬具の一つ。足を掛けます
- ⑩春の大型——をゴールデンウ
イークといいます
- ⑫クラブ——、救援——、——写
真
- ⑬与党と対立することが多い
- ⑭たくと良い香りがします
- ⑯アスパラガスは主にこの部分を
食べます

応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、
下記宛先にお送りください。
- 賞品
正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびぎ地区本部 総務課 「クイズ」係
2020年5月7日（木）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆



JAしまねびより
「俳句の広場」「川柳の広場」
がスタートします！

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集します。
優秀句（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）は5月号
より誌面でご紹介！たくさんのご応募お待ちしております。

奇数月は【俳句の広場】 選者は安食 彰彦先生
4月、6月、8月、10月、12月、2月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

偶数月は【川柳の広場】 選者は竹治ちかし先生
5月、7月、9月、11月、1月、3月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

最優秀賞、優秀賞の4名様には
「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、
電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、
Eメールのいずれかでご応募ください。
※1回のご応募につきお一人様3句まで
ご応募いただけます。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまね
に帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）
を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-35-9045
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

作業機を装着したトラクタで公道走行が可能となりました！

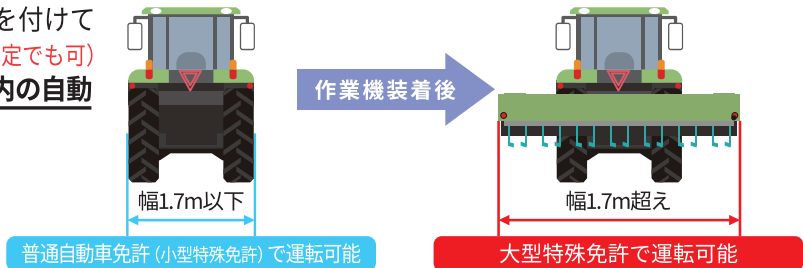
道路運送車両法の基準緩和によって、**一定条件を満たした状態に限り**トラクタに作業機（ロータリー・ハロー等、けん引式でないもの）を付けたままで公道を走行することが可能となりました。

適切な運転免許証をお持ちですか？

作業機の幅によって必要な運転免許が変わります

作業機本体の幅が**1.7mを超える**作業機を付けて公道を走行する場合、**大型特殊免許**（農耕限定でも可）が必要となります。**大型特殊免許は、県内の自動車教習所等で取得することができます。**

普通自動車免許（小型特殊免許）で運転可能なトラクタでも、**作業機の幅が1.7mを超えると大型特殊免許が必要**となるので注意！



※耕うん幅ではなく**作業機全体の幅**です。
 ※普通自動車免許を取得していれば、小型特殊免許取得の必要はありません。

作業機を装着したトラクタの公道走行については、免許の確認（取得）の他各種灯火類の確認や車両幅の確認、安全性の確認が必要です。トラクタ・作業機を保有するご自身で諸条件を十分ご確認いただき、法令を守って走行して下さい。また、ご不明な点がございましたら、お近くのJA 営農担当部署、農機担当部署までお問い合わせください。

島根をもっと元気にしたい ～一緒にJAで働きませんか～

JALしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、組合員はもとより県民そして次世代を担う若者・子どもたちとともに、大地の恵みと食文化の尊さを継承していきます。

「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 水と緑を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- 【し】……組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- 【ま】……組合員・利用者の満足、一番をめざします
- 【ね】……仕事への熱意、一番をめざします



JALしまね 令和3年4月 採用職員募集のご案内

- 募集職種** 正職員（総合職）
- 募集区分** 本店採用（転居を伴う配置の可能性があります）、地区本部採用（原則転居を伴う配置はありません）
- 応募資格** ①令和3年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 採用予定** 若干名
- 提出書類** 履歴書（JA指定）、卒業見込証明書または卒業証明書、学業成績証明書、受験票添付写真1枚（タテ4cm×ヨコ3cm、6ヶ月以内撮影）
- 受付期間** 令和2年4月1日（水）～5月8日（金）期間内必着
- 選考方法** 筆記試験、面接試験、小論文試験（一次選考・令和2年6月実施予定）
- 応募方法** マイナビ2021よりエントリーのうえ、提出書類を受付期間内に下記まで郵送または持参にてご提出ください。

※採用条件など詳しくはJALしまねHPまたは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先（書類提出先）

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
 JALしまね 総務部 人事課
 担当：太田、上原
 TEL：0852-35-9016
 FAX：0852-35-9024
 ホームページ
<http://ja-shimane.jp/>
 E-mail
jijin.hon@ja-shimane.gr.jp



マイナビ2021

マイナビでエントリー受付中



JALしまね 島根県農業協同組合



しまねうれしび



今月号から島根県家の光講師、飯塚生美子先生に季節のレシピをご紹介します！

新玉ねぎでライスサラダ



- ・新玉ねぎならではの甘さを生かした一品！
- ・野菜たっぷり、砂糖不使用。血糖値が気になる方におすすめです。
- ・レタスに包んでサラダ手巻き寿司風にもなります。

●材料（4人分）

ご飯……………400g	オリーブ油…大さじ2	カニかまぼこ……4本
新たまねぎ……1玉	酢……………大さじ4	青じそ……………2枚
パプリカ（赤）1/4個	コンソメ(顆粒)小さじ2	レタス……………適量
A パプリカ（黄）1/4個	カレー粉……小さじ1	
きゅうり…………1本	塩こしょう……少々	
プロセスチーズ…3個		

●作り方

- ①Aの材料を全部5ミリ角に切る。
- ②大き目のボウルにBを入れてよく混ぜ合わせドレッシングを作り、その中に①の材料を全部加えてひと混ぜする。
- ③②のボウルにご飯を加え、しゃもじで切るようにして混ぜ合わせる。
- ④器にレタスを敷いてその上に③を中高く盛り、ほぐしたカニかまぼこせん切りにした青じそを飾る。

アレンジ

- ・チーズの苦手な方は、ハム、焼き豚、ツナ缶等に変えてもおいしいです。
- ・カレー粉無しでもおいしくできます。
- ・市販のお好みのドレッシングを使ってもおいしくできます。
- ・盛り付ける具材はゆで卵や海鮮、アスパラ、スナップエンドウもおすすすめです。

新じゃがのガレット



- ・じゃが芋のでんぷん質で焼き固めるので、切ってから水にさらすと固まりにくくなります。
- ・なるべく細く切るとまとまりやすいです。
- ・おやつやおつまみにどうぞ！

●材料（直径20cmサイズ1枚分）

じゃが芋 2個(250g)	オリーブ油……大さじ1
A 片栗粉…………大さじ1	ケチャップ……お好みで
ピザ用チーズ…40g	
塩こしょう……少々	

●作り方

- ①じゃが芋は皮付きのまま洗いなるべく細いせん切りにする。
- ②ボウルにAの材料を入れて混ぜ合わせる。
- ③フライパンにオリーブ油をひいて中火で熱し、②を全部入れ、均等な厚さになるよう広げ、フライ返しでしっかり押し固めて焼く。
- ④5分くらい焼いたら裏返し（いったん皿に出してからひっくり返すと出しやすいです）、さらに3分押し焼きして両面に焼き色を付ける。
- ⑤器に盛り、食べ易い大きさに切り分ける。
- ⑥好みでケチャップをつけて食べる。

アレンジ

- ・カレー粉を加えて焼いてもOK!
- ・ブラックペッパーを振ると大人味に。

健康散歩

けんこうさんぽ



玄米を活用してみませんか？

気候がすっかり春らしくなり、新しいスタートを切る人が多いかと思えます。気持ちも新たに体力もしっかりとつけていきたいところです。私たちにあって炭水化物は主食として健康を支えてきた大切なエネルギー源ですので、きちんと摂取したいものです。そこで、今回はお米の中でも栄養価の高い、玄米についてご紹介します。

玄米とは、白米を精米する前のものです。玄米には血糖の上昇を抑える食物繊維や、糖質をエネルギーに変える働きのあるビタミンB1などが豊富に含まれており、白米と比べても、食物繊維は約6倍、ビタミンB1は5倍、鉄分は約2.5倍、カルシウムは約2倍の栄養価となっています。ところが、そのままの玄米は胃に負担がかかったり、食感や味覚があまり好まれなかったり、玄米を摂取する家庭が少なくなりました。「玄米を摂取したいけど、ちょっと…」という方には、玄米と白米を混ぜて摂取されてもいいかもしれません。玄米と白米を1：1で混ぜたものや、5分づき米などでも玄米の良さを取り入れることができますし、食べやすくなります。特に、食事時間が21時以降になると、血糖が上昇しやすくなってしまいますので、そんな方にもおすすめです。しっかり、よく噛んで食べるようにしましょう。最近では、白米が主流になったことから、消化が良くなり、食べやすくなったのでよく噛まずに食べてしまい、ついつい食べ過ぎてしまうということもなっています。肥満の原因にもなりかねません。

最近では、玄米を美味しく炊ける電化製品も増えてきているので、体調が気になる方には玄米をお勧めします。今では、ご飯だけでなく玄米を使ったパンやお菓子、麺なども出てきました。いつも買うパンやお菓子ではなく、時には玄米を使用したものを選ぶなど、栄養価の高いものを選んでみてはいかがでしょうか。

